

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 122	提案機関名 横浜市漁業協同組合
<b>要望問題</b> 資源回復計画のフォローアップ調査	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 横浜市漁協では平成19年度から資源回復計画に参加し、シャコ・マコガレイ資源等の回復に努めてきた。しかし、シャコ及びマコガレイ資源は未だ回復の兆候がみられない。今後のより実効を伴った資源管理型漁業の方策に資するため、対象資源に対する資源管理効果を検証していただくとともに、シャコ及びマコガレイ資源の減少要因の解明や今後の資源の動向について検討してもらいたい。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	①農業技術センター②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	水産技術センター	<b>担当部所</b>	栽培推進部
<b>対応区分</b>	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合)	複合的資源管理型漁業推進対策事業		
<b>対応の内容等</b>	<p>平成26年度から、普及活動の一環として月1回の貝毒プランクトン調査を実施しています。</p> <p>資源管理効果については引き続き検証を進めてまいります。今までの取り組み結果を踏まえると、シャコやマコガレイの資源を短期間で回復することは困難と考えられます。シャコやマコガレイの減少要因については、貧酸素水塊の拡大と長期化、餌生物の減少などが稚仔の生き残りや成長に影響を与えている可能性が考えられますが、まだはっきりしたことはわかっていません。引き続き調査データの解析を進めるとともに、環境や生物のモニタリング調査を継続し、資源動向の解明につながる研究を進めていきます。</p> <p>また、資源管理型漁業の推進については、多様な資源を活用しつつ、シャコ等の長期的な資源回復の取り組みできるよう、今後の資源管理に対する技術的支援や提案を行っていきます。</p>		
<b>解決予定年限</b>	①1年以内      ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内      ④5～10年以内		
<b>備考</b>			